

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	宮崎県機械技術センター
指定管理者	公益財団法人宮崎県機械技術振興協会
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日(5年間)
県所管部課	商工観光労働部企業振興課

1 施設利用状況

指標	H28	H27	H26	増減理由等
技術指導・相談(件)	549	400	409	・設備利用等新規利用者の増加に伴い、機器の取扱い指導及び相談件数が増加した。 ・研修内容の拡充により受講者が増加。また、技能検定対策講座の受講者数が大幅に増加した。 ・依頼試験の減少は、手数料が民間企業と比較して高額であることや、工事件数そのものが減少したためと考えられる。 ・その他、技術支援(補助金等獲得コーディネート、ものづくり品質向上支援)は、企業ニーズの高まりが感じられる。
技術研修・講習会(人)	293	94	153	
設備利用(件)	368	288	465	
依頼試験(試料)	199	369	606	
その他技術支援(件)	41	27	23	
コメント	企業を取り巻く外部要因等の影響で減少傾向にある取組もあるが、平成26年度から新たに取り組んでいる国の補助等金獲得に向けたコーディネートやものづくりの品質向上支援は、企業ニーズの変化に応じた取組として評価できる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H28	H27	H26	支出	H28	H27	H26
指定管理料	50,228	49,433	50,004	人件費	23,397	24,470	21,960
				報償費	158	507	240
				旅費	885	643	861
				需用費	8,240	7,024	8,384
				役務費	567	712	849
				委託料	12,795	9,241	9,048
				使用料及び賃借料	1,055	873	918
				負担金	0	10	10
				備品購入費	658	4,246	5,001
				公課費	1,732	2,058	2,120
合計(①)	50,228	49,433	50,004	合計(②)	49,487	49,784	49,391
収支差額(①-②)	741	-351	613				
コメント	事業の効率的な執行により節減した経費を施設や設備の充実にあてるなど、効果的な財政運営がなされている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃、定期清掃(年1回 ワックス等)
	保守・点検	消防用設備(年1回 消火器点検)、電気工作物(年4回)
	警備	常駐警備(平日夜間及び休日日中)、事務室の機械警備実施
	修繕	設備利用備品(オートグラフ)の修繕、給水設備の漏水修繕、本館パラベットの塗装、研修室の暗幕及びブラインドの修繕、別館放電加工・熱処理室開口部の補修工事、屋外水栓柱の撤去工事
	備品等管理	管理台帳整備、県定期報告(四半期に1回)
	安全対策	安全・危機管理マニュアル整備
	その他	草刈り・除草(2ヶ月に約1回)、樹木剪定(年1回)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者満足度調査(外部評価アンケート1回)、技術講習会アンケート(5回)、業務推進委員会の開催(1回)、企業巡回訪問(65社)、技術調査及び新技術導入のための派遣研修(16回)
	イベント等ソフト面充実	技術講習会(5回 延べ104人出席)、モノづくりセミナー(1回49人出席)、専門家等派遣による現場指導又は技術伝承(4回実施)、ものづくりに係る品質向上の指導(延べ10件)、補助金の獲得に向けたコーディネート(延べ73回)、企業との共同研究(2件)、施設一般公開(センター見学者延べ114名)
	施設設備等ハード面充実	卓上タイプドラフト、直流安定化電源、実体顕微鏡用ステージ、レーザー計測システム用レーザーステアラ及びプロジェクターの新規導入
	その他	地元自治体・延岡鉄工団地協同組合等との連携、延岡チームOX(鉄工団地若手経営者で組織)との連携
管理運営体制	事業計画書に基づく必要な職種・人員の配置、技術動向調査や新技術導入のための研修会等への派遣による技術指導体制の強化	
コメント	維持管理業務に関しては、協定書に基づき適切な管理運営がなされている。 企画運営業務に関しては、ものづくりに係る品質向上の指導や補助金獲得に向けたコーディネート、専門家派遣による現場指導などソフト面を充実するとともに、企業ニーズに応じたハード面の充実にも積極的に取り組んでいる。	

#### 4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	年1回のアンケート及び講習会開催ごとのアンケート(5回)を実施	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
センターの管理・運営については、利用者の満足度が高かった。特に、企業に職員を派遣して工作機械の精度測定(ものづくりに係る品質向上)や補助金獲得の支援等について高評価であった。	今後も、企業巡回訪問等によりニーズ把握に努め、業務に反映していきたい。	
使用料や手数料等の利用料金の口座振り込み等を要望する声があった。	利用料金の徴収方法について、現時点で対応は困難という説明し理解いただいた。	

#### 5 総合評価

評価コメント	指定管理業務全般について、協定書に基づき適切な管理運営がなされており、財務面でも問題ない。ものづくりに係る品質向上の指導や補助金獲得に向けたコーディネート、専門家派遣による現場指導等ソフト面を充実するとともに、企業ニーズに応じたハード面の充実にも積極的に取り組んでいる。利用者満足度調査の結果からも、県北唯一の技術支援機関として地域企業からの信頼は大きく、評価できる。
今後の課題と対応	今後も企業訪問や利用者満足度調査によりセンターに求められる役割を把握し、業務内容に反映させていくとともに、企業からの相談に応じた技術指導が行えるよう、職員のスキルアップを図っていく必要がある。